

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 カシオ計算機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6952 URL <http://www.casio.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 榎尾 和雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務・IR担当

(氏名) 高木 明德

TEL 03-5334-4852

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	306,179	△20.9	△20,459	—	△17,488	—	△14,463	—
21年3月期第3四半期	386,963	—	10,750	—	7,662	—	1,375	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△52.14	—
21年3月期第3四半期	4.97	4.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	410,610	158,008	40.4	597.39
21年3月期	444,653	184,981	41.2	660.28

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 165,736百万円 21年3月期 183,157百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	23.00	23.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。
(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄参照)

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	435,000	△16.0	△30,000	—	△28,000	—	△22,000	—	△79.30

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 279,020,914株 21年3月期 279,020,914株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 1,588,666株 21年3月期 1,628,789株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 277,420,160株 21年3月期第3四半期 276,672,377株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。なお、平成21年10月16日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しております。

平成22年3月期期末配当予想については、現時点で未定であります。予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における内外経済は、一部で持ち直しの兆候が見られるなど、最悪期から脱しつつあるものの、依然として予断を許さない状況で推移しました。また、当社を取り巻く事業環境も、長引く個人消費低迷の影響を受け、厳しい状況が続きました。

この環境下、当第3四半期連結累計期間の売上高は対前年同期比20.9%減の3,061億円となりました。セグメント別内訳は、エレクトロニクス機器事業が対前年同期比20.5%減の2,710億円、デバイスその他事業が対前年同期比23.8%減の351億円でした。

デジタルカメラは、決定的な瞬間が撮れる高速連写を実現した“HIGH SPEED EXILIM”の新製品「EX-FC150」など計8機種を投入し、第3四半期以降大幅な改善が進んでおります。一方、携帯電話は、au向けに12.2メガ高画素カメラを搭載し、20枚/秒の「高速連写」や動く合成写真作成機能「ダイナミックフォト」など、多彩なデジタルカメラ機能を備えた「EXILIMケータイ CA003」や米国ベライゾンワイヤレス向けに防水・耐衝撃ケータイの新製品「G'z One ROCK」など計6機種を投入しました。国内市場においては、第2四半期末の想定外のシェア低下を第3四半期で挽回しきれず、引き続き苦戦を強いられました。また、海外市場においては、ベライゾンワイヤレス向け新製品の一部が第4四半期にずれ込んだ影響もあり、減収となりました。デバイス事業は主にTF T液晶がデジタルカメラや携帯電話の需要低迷と価格下落の影響により減収となりました。

損益につきましては、エレクトロニクス機器事業は144億円の営業損失となりました。これは主に携帯電話及びデジタルカメラの減収によるものです。一方、時計や電子辞書は高収益性を維持しました。デバイスその他事業は24億円の営業損失となりました。この結果、消去又は全社考慮後の連結合計として204億円の営業損失となりました。また、経常損失は174億円、四半期純損失は144億円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権、有価証券の減少などにより、前連結会計年度末比340億円減少し、4,106億円となりました。純資産は、四半期純損失や配当金支払による減少などにより、前連結会計年度末比269億円減少し、1,580億円となりました。その結果、自己資本比率は40.4%となりました。

キャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは5億円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは102億円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは120億円の支出となり、その結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比218億円減少し、823億円となりました。

当グループは今後も引き続き事業資産の効率的運営の徹底を図り、安定的且つ強靱な財務体質の構築に取り組んでまいります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年10月16日に公表した平成22年3月期の通期連結業績予想を以下の通り修正いたします。

【連結業績予想】

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成21年10月16日発表)	4,770	△50	△55	△70
今回修正予想 (B)	4,350	△300	△280	△220
増減額 (B-A)	△420	△250	△225	△150

売上高は、携帯電話の国内向け想定シェア未達、海外向け投入遅れ、また、デジタルカメラの海外向け販売台数見直し等により、前回予想を下回る見通しとなりました。

損益は、携帯電話の売上計画修正に伴う影響、国内向け開発計画変更に伴う損失、海外向け新製品投入遅れに伴う追加費用・在庫評価損、また、次期V字回復に向けた新規事業及びデジタルカメラを中心としたエレクトロニクス機器への先行投資等により、前回予想を下回る見通しとなりました。

(注) 業績見通しについて

①為替水準は1 US \$ = 90円、1ユーロ = 125円を想定しております。

②業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与える要素としては、当グループの事業をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする主要為替相場の変動、製品販売価格の大幅な変動などが考えられますが、これらに限られるものではありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化が無いと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。この変更が損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,732	32,982
受取手形及び売掛金	71,658	79,150
有価証券	39,731	65,830
製品	41,604	33,100
仕掛品	6,214	4,612
原材料及び貯蔵品	15,917	13,572
その他	43,277	49,811
貸倒引当金	△896	△858
流動資産合計	254,237	278,199
固定資産		
有形固定資産	72,584	74,686
無形固定資産	14,559	13,806
投資その他の資産		
投資有価証券	51,728	54,564
その他	17,631	23,517
貸倒引当金	△129	△119
投資その他の資産合計	69,230	77,962
固定資産合計	156,373	166,454
資産合計	410,610	444,653

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,327	83,577
短期借入金	23,770	16,634
1年内返済予定の長期借入金	500	10,500
未払法人税等	2,360	2,085
製品保証引当金	1,591	1,611
その他	56,381	55,194
流動負債合計	162,929	169,601
固定負債		
社債	10,000	10,000
新株予約権付社債	50,000	50,000
長期借入金	10,200	10,450
退職給付引当金	9,409	7,378
役員退職慰労引当金	2,635	2,640
その他	7,429	9,603
固定負債合計	89,673	90,071
負債合計	252,602	259,672
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,592	48,592
資本剰余金	65,704	65,503
利益剰余金	62,216	83,327
自己株式	△3,518	△3,612
株主資本合計	172,994	193,810
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,292	△1,304
繰延ヘッジ損益	△300	△501
為替換算調整勘定	△9,250	△8,848
評価・換算差額等合計	△7,258	△10,653
少数株主持分	△7,728	1,824
純資産合計	158,008	184,981
負債純資産合計	410,610	444,653

(2) 四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	386,963	306,179
売上原価	281,572	235,245
売上総利益	105,391	70,934
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	26,722	25,113
その他	67,919	66,280
販売費及び一般管理費合計	94,641	91,393
営業利益又は営業損失(△)	10,750	△20,459
営業外収益		
受取利息	1,450	874
為替差益	—	1,402
金利スワップ評価益	—	1,006
その他	1,058	1,515
営業外収益合計	2,508	4,797
営業外費用		
支払利息	622	639
たな卸資産廃棄損	1,327	—
為替差損	1,827	—
その他	1,820	1,187
営業外費用合計	5,596	1,826
経常利益又は経常損失(△)	7,662	△17,488
特別利益		
固定資産売却益	8	14
投資有価証券売却益	—	1,660
その他	1	—
特別利益合計	9	1,674
特別損失		
固定資産除却損	324	625
減損損失	332	—
投資有価証券評価損	2,813	1,000
特別退職金	—	578
その他	49	83
特別損失合計	3,518	2,286
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,153	△18,100
法人税等	2,988	5,921
少数株主損失(△)	△210	△9,558
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,375	△14,463

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,153	△18,100
減価償却費	20,859	21,945
減損損失	332	—
固定資産除売却損益(△は益)	316	611
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,660
投資有価証券評価損益(△は益)	2,813	1,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	657	2,085
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	70	△5
受取利息及び受取配当金	△1,739	△1,007
支払利息	622	639
為替差損益(△は益)	△791	△504
売上債権の増減額(△は増加)	19,646	7,868
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,064	△12,637
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,787	△4,999
その他	△1,815	4,111
小計	5,272	△653
利息及び配当金の受取額	1,864	1,326
利息の支払額	△557	△689
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△12,051	519
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,472	503
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,583	△1,325
定期預金の払戻による収入	3,725	1,880
有形固定資産の取得による支出	△8,289	△4,765
有形固定資産の売却による収入	75	36
無形固定資産の取得による支出	△14,168	△15,341
投資有価証券の取得による支出	△41,562	△3,027
投資有価証券の売却及び償還による収入	11,625	12,634
事業譲渡による収入	5,988	—
その他	△47	△332
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,236	△10,240
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	56	7,325
長期借入金の返済による支出	△6,250	△10,250
社債の発行による収入	49,907	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△869	△2,794
配当金の支払額	△9,107	△6,380
その他	△6	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,731	△12,094
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,842	△40
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,819	△21,871
現金及び現金同等物の期首残高	87,957	104,248
現金及び現金同等物の四半期末残高	70,138	82,377

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) (単位: 百万円)

	エレクトロニクス機器事業	デバイス その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	340,904	46,059	386,963	—	386,963
(2) セグメント間の内部売上高	312	18,933	19,245	(19,245)	—
計	341,216	64,992	406,208	(19,245)	386,963
営業利益 (又は営業損失)	17,552	(2,459)	15,093	(4,343)	10,750

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) (単位: 百万円)

	エレクトロニクス機器事業	デバイス その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	271,068	35,111	306,179	—	306,179
(2) セグメント間の内部売上高	450	14,422	14,872	(14,872)	—
計	271,518	49,533	321,051	(14,872)	306,179
営業損失	(14,487)	(2,401)	(16,888)	(3,571)	(20,459)

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。